

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

アプローチカリキュラム スタートカリキュラム



市川市教育委員会では、自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもの育成を目指して「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」に取り組んでいます。幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期です。この時期に育まれた「心情・意欲・態度」は生きる力の基礎となるものです。この生きる力の基礎を確かなものとするため、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」を作成しました。

平成30年9月



市川市・市川市教育委員会

幼児期に育みたい資質・能力とは

保育所保育指針や幼稚園教育要領等5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）のねらい及び内容に基づき、各園が幼児の実情や幼児の興味関心等を踏まえながら展開する活動全体によって一体的に育むものです。



<p>生きる力の基礎</p> <p>幼児期に 育みたい資質・能力</p>	<p>発達の特徴</p>	<p>○友達関係を深めながら自分の力を十分に発揮したり、互いのよさを認め合ったりしながら、共通の目的に向かって自分たちで遊びを進めていく時期</p>
	<p>5歳 10月以降の目指す具体的な姿</p>	
<p>知識及び技能の基礎</p>	<p>●「なぜ」「どうして」と疑問を持ったり、物の性質や仕組みについて考えたりして、これまでの経験を生かして遊びを進めるようになる。</p> <p>●ゲームや遊びの中で、数を数えたり文字にふれたりすることなどを通して、数や文字に興味をもち必要感をもって遊びに取り入れられるようになる。</p> <p>●自分のことは自分で言い、自分だけではできないことは、友達や保育者の助けを借りながら自分で考えて行動決定するようになる。</p> <p>●その日の予定がわかり、遊びの時間などを感覚的に捉え、時間や時刻を意識して行動するようになる。</p> <p>●友達と協力したり、競ったり、挑戦したりして、体を動かすことを楽しむようになる。</p>	
<p>思考力・判断力・表現力等の基礎</p>	<p>●自分の思いや考えを相手にわかるように伝えたり、相手の話を聞いて理解したりして行動するようになる。</p> <p>●ルールのある遊びの中で、チーム意識を持ったり競い合ったり、互いのよさを生かしながら遊ぶ楽しさを感じるようになる。</p> <p>●危険な物や場所、遊び方がわかり、状況判断しながら安全に気を付けて遊ぶようになる。</p> <p>●心を動かすできごとを通して、感じたこと、考えたことを友達と一緒に表現することを楽しむようになる。</p>	
<p>学びに向かう力・人間性等</p>	<p>●いろいろな人との触れ合いの中で信頼感を持ち、自分が役に立つ喜びを感じるようになる。</p> <p>●目的の達成のために、グループや学級の友達と協力して諦めずに努力し充実感を味わうようになる。</p> <p>●季節の変化を感じとり、天候や気温などに応じて必要な生活の仕方を自分たちで考えてするようになる。</p> <p>●生命あるものをいたわったり、大切にしたりする気持ちをもつようになる。</p> <p>●課題に粘り強く取り組もうとし、最後まで目的に向かって進められるようになる。</p> <p>●自分のよさや成長に気付くとともに、卒園や就学への喜びを感じ、学校への期待と意欲をもつようになる。</p>	

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。



気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。



心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。





保育の展開例

小学校にもつながる保育展開例です。こちらを参考に、幼児の実態や園の環境に応じて各園で工夫してください。

カリキュラム活用の仕方

保育所保育指針、幼稚園教育要領等で示された資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を参照しながら市川市として育てたい姿を目指し、各園の実情や実態に応じた具体的な指導計画を作成するための資料として、活用してください。尚、この姿は小学校と共有することが望まれます。また、個々の状況に応じて「市川市個別の教育支援計画 市川スマイルプラン実施要項」・「幼稚園及び保育園と小学校の引継ぎに関わるガイドライン」に基づいて引継ぎを行い、関係機関との連携と情報の共有を図りましょう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

この姿は、教職員が指導を行う際に考慮するものであり、到達すべき目標でないことや個別に取り出されて指導するものではないことに十分留意。

- 卒園に向かって、自分たちで園生活を進めていく時期
- 就学に期待を高め、進学することを意識する時期

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

保 育 の 展 開 例

- ・自然事象や自然物に触れ、調べたり試したりする直接体験の機会をもつ。
 - ・生活や活動の中で数量や図形、文字などに親しめるような環境を整え、文字や図形などで表現し、相手に伝える喜びや楽しさを感じられるようにする。
 - ・活動の中で鉛筆にも慣れて使えるように一人一人に応じて正しい鉛筆の持ち方を知らせ、運筆がなめらかになるようにしていく。
 - ・友達と力を合わせたり挑戦したりすることで、上達を実感できるような活動を提案する。
 - ・ロッカーの中を整えるなど、各自の所持品を管理する機会を取り入れる。
 - ・1日の流れを視覚化して自分で見通しがもてるようにし、時間や時刻を意識して行動できるようにする。
 - ・食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく時間内に食べられるようにする。(20～25分程度)
-
- ・全体での活動前には、話し合う内容を明確に提示し、一人一人が自分の考えを話すこと、相手の話を最後まで聞くことなど話し合いの仕方を伝えていくようにする。
 - ・活動後には、思ったこと、考えたこと、気付いたことなどを発表する振り返りの機会をつくるようにする。
 - ・トラブルなどを通して相手の気持ちに気付いたり、やって良いこと悪いことに自分から気付くようにする。
 - ・友達と共通の目的を持ち、一緒に表現する機会を取り入れるようにする。
-
- ・活動のねらいに応じて椅子や机の並べ方・活用の仕方を変えるようにするとともに、よい姿勢で座ることを意識できるようにする。
 - ・クラスで取り組む活動では、先生の指示やルールにそって動いたり、合図を聞いて動いたりするなど、自分の行動を意識できるようにする。
 - ・動植物の世話を通して、気付いたことや心を動かしたことに先生や友達と共感する経験を重ね、大切にすることを覚えるようにする。
 - ・クラスの中で存在感、役立ち感を感じられる機会を多くする。
-

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり
生命尊重

数量・図形、文字等への関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性と表現

家庭との連携

- ・季節を通して身近な自然などに触れ、感じたことや不思議さなどを子どもと共感するように働きかける。
- ・子どもの疑問と一緒に考えたり、答えたりするように働きかける。
- ・自分で所持品の管理や翌日必要なものを用意するなど、家庭でも自分で行動できるようなかわりをお願いする。

まず、一人一人が安心感をもち、学校に親しみ、新しい人間関係の構築をねらいとした学習を中心に
 児童が安心感をもち、自分の力で学校生活を送れるように、人と関わる活動や環境作りを工夫しよう。

少しずつ、合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習へ
 生活科を核として好きなことに没頭する中で、児童の自信や意欲が高まるように活動を構成しよう。

そして、小学校6年間の土台となる教科等を中心とした学習へ
 児童の自立を促すようなカリキュラム・マネジメントを意識した指導計画を作成しよう。

1年生 4月上旬		
まず、安心して人に親しむ、場所に親しむ、集団生活に慣れる学習を		
	◎ねらい ・学習活動例【教科等】	☆配慮事項
<p>健康な心と体</p>	<p>◎先生や学級内の児童同士をつなぎ、仲良くなる 【音楽・特別活動・算数】 ・手遊び歌、じゃんけん列車、校歌、春の歌</p>	<p>☆就学までの活動を生かし、児童たちに馴染みのあるゲームを取り入れる。</p>
<p>自立心</p>	<p>◎興味を広げながら学習の素地を育てる 【国語・図画工作】 ・姿勢、鉛筆の持ち方、ノート・下敷きの使い方、線なぞり、色ぬり</p>	<p>☆就学までの経験を生かす。 ☆学習のルールを示す合言葉や掲示物・ワークシートを活用する。</p>
<p>協同性</p>	<p>◎小学校の生活に慣れる 【特別活動・道徳・生活】 ・時間を守る、休み時間の過ごし方、トイレの使い方</p>	<p>☆タイムタイマーや掲示物を活用する。 ☆全校での共通理解を図る。</p>
<p>道徳性・規範意識の芽生え</p>	<p>◎先生や友達との関係を築く【生活・道徳・国語】 ・挨拶、返事、話をする、話を聞く ・名前を言う、名前を聞く、担任の先生や友達と握手する</p>	<p>☆児童との関わりを多く持ち、毎日繰り返して習慣化を図ったり、ゲーム形式で楽しみながら取り組めるように工夫したりする。</p>
<p>社会生活との関わり</p>	<p>◎生活環境を整える 【特別活動・道徳】 ・身の回りの整理整頓 (机の中、ロッカー、くつ箱、傘立て等)</p>	<p>☆児童が自分で整えやすい場を設定する。 ☆写真やイラストの掲示物等を活用する。</p>
<p>思考力の芽生え</p>	<p>◎きまりを守り、安全に生活する 【特別活動・道徳・体育】 ・並び方、廊下の歩き方、体操服の着替え方 遊具遊び(校庭・体育館)</p>	<p>☆先生の一方的な説話ではなく、児童の育ちを生かし一緒に考えてルールをつくるようにする。</p>
<p>自然との関わり 生命尊重</p>	<p>◎自立心を高める 【生活・特別活動】 ・給食準備・後片付けの仕方、清掃の仕方</p>	<p>☆当番表を活用する。 ☆就学までの育ちを生かして、できることを増やしていけるようにする。</p>
<p>数量・図形、文字等への関心・感覚</p>	<p>◎学年の友達を増やす 【生活・特別活動・体育】 ・集会活動、学年体育</p>	<p>☆学年で共通理解を図り、様々な学習活動のなかで取り組んでいく。</p>
<p>言葉による伝え合い</p>	<p>◎他学年と交流し、親しみのある人を増やす 【生活・特別活動】 ・ペア学年の交流活動、縦割り活動 ・上級生や他の先生方との関わり</p>	<p>☆他学年の担任と協力し全校での共通理解を図る。</p>

児童期の初期に目指す姿「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と重なります。

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり
生命尊重

数量・図形、文字等への関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

入学当初は、幼児教育（遊びや生活を通して総合的に学んでいく教育課程等）から小学校教育（各教科等の学習内容を系統的に配列した教育課程等）へと滑らかにつないでいくことが大切です。



時間を測る
タイムタイマー



傘立ての使い方を示す
掲示物

1年生 4月中旬～

徐々に教科等を中心とした学習へ

◎ねらい ・学習活動例【教科等】

☆配慮事項

【生活科】

◎友達や先生、学校を支える人々に親しみ、楽しく学校生活を送ろうとする。

- ・学校探検・校庭探検・植物の栽培等

【特別活動】

◎学級の友達と仲よくして、学校生活に慣れ、学校生活を楽しもうとする。

- ・係活動・当番活動・集会活動・グループで相談するゲーム等

【道徳】

◎進んで気持ちのよい挨拶をしたり、きまりを守ったりしようとする。

- ・紙芝居、絵本の活用・ロールプレイ等

【図画工作科】

◎自分の好きなものや伝えたいことを表現することを通して、表現することを楽しもうとする。

- ・お絵かき（クレヨン、色鉛筆）・空き箱工作（はさみ、のり、セロハンテープ）・折り紙・粘土等

【音楽科】

◎友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽を楽しもうとする。

- ・じゃんけん列車・楽器遊び・振りをつけて歌う等

【体育科】

◎体を動かすことの楽しさを味わうとともに基本的な動きを身に付けようとする。

- ・鬼遊び・伝承遊び・固定施設を使った運動遊び・かけっこ・リズム遊び等

【国語科】

◎学校生活の言葉や適切な声量を知り、本や文字、言葉に親しむ。文字に興味をもったり、適切な姿勢・鉛筆の持ち方・筆圧で、線や文字を書いたりする。

- ・読み聞かせ・カルタ遊び・しりとり・ひらがな・言葉集め・音読等

【算数科】

◎活動を通して数の感覚を豊かにして、物の個数を数えたり、唱えたりする。

- ・数当てゲーム・仲間をつくって数えるゲーム・おはじき遊び・いくつといくつ等

☆スタートカリキュラムの中心教科として、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割設定をする。

☆当番活動・係活動などの習慣化を図り、見通しを持てるように児童の生活の流れを大切にする。

☆体験を通して実感的に理解を深められるようにする。

☆友達の作品を見たり、友達と思いなどを伝え合ったりすることで考えを広げられるようにする。

☆就学までに取り組んだ馴染みのある曲を取り上げ、楽しめるようにする。

☆就学までに親しんだ様々な動きを友達と楽しみながら経験できるように課題や活動の場を工夫する。

☆繰り返し指導したり、掲示物等を活用したりして習慣化を図る。

☆学校司書との連携を図る。

☆具体物やおはじき・ブロック・数え棒などを活用する。

生きる力

教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力

生きて働く
「知識・技能」の習得

未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力等」の育成

学びを人生や社会に活かそうとする
「学びに向かう力・人間性等」の涵養

スタートカリキュラム編成の基本的な考え方

全教職員で共通理解し、毎年、見直し・改善を図ることが大切です。幼稚園・保育園等の教職員との協議会や保護者への説明会も計画しましょう。

●幼児期の学びと育ちの様子や指導の在り方を把握しよう

- ・幼稚園、保育所等を訪問し、園児の活動の様子を見学したり、教職員と意見交換したりする。
- ・「市川市個別の教育支援計画 市川スマイルプラン実施要項」・「幼稚園及び保育園と小学校の引継ぎに関わるガイドライン（平成30年2月市川市教育委員会）」に基づいて引継ぎを行い、内容を活用する。

●児童の発達を踏まえ、弾力的な時間割や学習活動を工夫しよう

- ・15分のモジュールで時間割を構成する。活動性のある学習活動をする。

●生活科を中心とした合科的・関連的な指導を進めよう

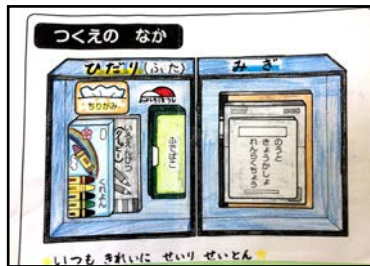
- ・自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進める。

●安心して学べる学習環境・生活環境を整えよう

- ・幼児期の生活に近い環境（馴染みのある手遊び歌や絵本・自由に遊べる時間や場所等）を用意する。
- ・分かりやすく学びやすい環境（文字や絵、写真などの掲示物）を用意する。
- ・人と関わる楽しい活動（場所・人・集団・きまり等に慣れるための活動）を工夫する。



就学前に似た
班の形の机の並び



机の中の
整理の仕方を表した掲示物



いつでも手に取れる
学級文庫

4月第1週のカリキュラム（例）

15分：1モジュール（M）

今週のねらい【先生や友達と仲良くなる 自分でできることを増やす】					
	4/0（○）	4/0（○）	4/0（○）	4/0（○）	4/0（○）
朝の会		今日の予定 健康観察	今日の予定 健康観察	今日の予定 健康観察	今日の予定 健康観察
1		音楽 手遊び歌	音楽 手遊び歌	音楽 手遊び歌	音楽 手遊び歌
		国語 読み聞かせ	国語 読み聞かせ	国語 読み聞かせ	国語 鉛筆の持ち方
2	入学式 (行事3M)	生活 わたしの教室	生活 わたしの学校	生活 友達つくろう	図工 色鉛筆で色ぬり
		学活 身支度・トイレ	国語 名前を言う	国語 鉛筆の持ち方	
3	入学式後 (学級活動3M)	道徳 挨拶・返事	学活 廊下の歩き方	身体計測 (行事3M)	算数 数のゲーム
		音楽 歌って踊ろう	音楽 歌って踊ろう		音楽 歌って踊ろう
帰りの会	一日の振り返り 明日の予定	一日の振り返り 明日の予定	一日の振り返り 明日の予定	一日の振り返り 明日の予定	一日の振り返り 明日の予定
下校	11:30	10:40 集団下校	11:00 集団下校	11:30 集団下校	11:30 集団下校